

製品名: PGBD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16022**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 92kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | PGBD1 |
| 別名 | PGBD1; hucep-4; PiggyBac transposable element-derived protein 1; Cerebral protein 4 |
| 遺伝子 ID | 84547.0 |
| SwissProt ID | Q96JS3 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト PGBD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290 |

背景

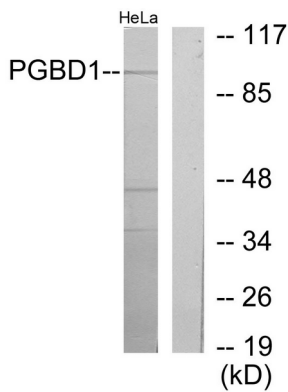
多様な動物に見られる piggyBac ファミリータンパク質は、Trichoplusia ni (イヌタデ) 由来の標準的な piggyBac トランスポゾンのトランスポザナーゼに関連するトランスポザナーゼです。このファミリーには、ヒトを含む複数のゲノムに、piggyBac トランスポゾンに

由来すると考えられる遺伝子も含まれています。この遺伝子は、piggyBac トランスポゾン由来遺伝子 (PGBD) のサブファミリーに属します。PGBD タンパク質は新規であり、他のトランスポザーゼや既知のタンパク質ファミリーとの明確な関連性は見られません。この遺伝子産物は脳で特異的に発現しますが、その正確な機能は不明です。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010 年 5 月],類似性: 1つの SCAN ボックスドメインを含みます。、

研究分野

細胞生物学; その他の抗体

画像データ



PGBD1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PGBD1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。